

令和六年度 三重県支部賀詞交歓会句会成績

日時 令和七年一月二十五日（土）
会場 プラザ洞津

辻 美奈子先生 特選

絵襖の閉めて繋がる山河かな

伊藤 久子

ぽっぺんに魂入れ替はる心地かな

武田 巨子

坂口緑志先生 特選

寒牡丹もて御仏を荘厳す

西田 誠

西田 誠先生 特選

絵襖の閉めて繋がる山河かな

伊藤 久子

石井いさお先生 特選

寒怒濤そびらに猛る能登太鼓

福田 容子

福山良子先生 特選

古琵琶湖の土よみがへる初轆轤

西田 誠

橋本石火先生 特選

絵襖の閉めて繋がる山河かな

伊藤 久子

平田冬か先生 特選

海鼠漁退屈さうな水平線

谷口 ちほ

山中悦子先生 特選

砂浜に海女らぬかづく初日かな

平田 冬か

安保雅司先生 特選

軋み鳴く浮棧橋や寒に入る

坂本 ふき

武田巨子先生 特選

初明り伊勢湾更に広げたり

小林たみ子

森下充子先生 特選

鶺鴒の波踏みに来し三日かな

坂口 緑志

高点句

十点句

絵襖の閉めて繋がる山河かな

伊藤 久子

いつき野は伊勢のまほろば若菜摘む

平田 冬か

八点句

七岳や雪は言葉のやうに降り

佐野 弓子

六点句

古琵琶湖の土よみがへる初轆轤

西田 誠

目に見えぬことに手間取り年用意

古川 和子

一杯の寒九の水をかむやうに

金津やよい

五点句

初明り伊勢湾更に広げたり

小林たみ子

英虞湾のやはらぐ青も春隣

芦田 昌男

鎮もれる山ゆさぶりぬお鉤引

岡島 千秋

生涯のどこへ戻らむ絵双六

米野てるみ

初神楽神代の火もて笙焙る

松本 愛子

砂浜に海女らぬかづく初日かな

平田 冬か

※高点句賞は一人一賞のため二句目は辞退して
いただきました。